

## 美術：グループによる協働学習を通して学び合う鑑賞の授業

### 1 MAPを生かした指導の工夫

鑑賞の授業に、他の人とかかわる場面を意図的に設けたグループ形態による協働学習を取り入れた。その中で、互いの感じ方や考え方を認め合う雰囲気づくりを進めるために、MAPの根底に流れている考え方や手法を取り入れることを考えた。

### 2 単元名 鑑賞「現代美術の開拓者の精神を味わおう」

### 3 指導対象学年 3 学年

### 4 単元の目標

#### (1) 教科としての目標

20世紀前半に、それまでの伝統的な表現形式を乗り越え独自の表現方法を生み出した作家たちの考え方や作品に関心を持ち、新しい文化が創造されていくことのすばらしさを味わうことができるようにする。

#### (2) MAP導入のねらい

互いの感じ方や考え方を認め合う雰囲気をつくり、自分の意見を意欲的に発表できるようにしたい。

### 5 指導に当たって

美術作品を鑑賞することは、作品が語りかけてくるメッセージを感じ取りながら作者との対話をする過程で、新たな発見をしたり作品の見方を広め深めたりしていくことである。鑑賞の授業で大切なことの一つは、自分とは違う感じ方をする他の人を認め、他の人の感じ方からも学ぶことである。グループ活動の中で、友達の意見を尊重し、認め合いながら話し合いができるように支援したい。

### 6 指導計画 (5時間扱い)

段 階	時数	学 習 内 容
課題設定 (本時)	1	・20世紀前半に、新しい表現を生み出そうとした作家の作品を鑑賞し、感想と疑問点を発表する。 ・6人の班(学習班)をつくり、班のめあてと一人一人が下記の6作家の中から誰について調べるのかを話し合って決める。 (ピカソ、マティス、モンドリアン、ミロ、ダリ、デュシャン)
課題追求	3	・同じ作家を調べる者同士で集まり、班(課題追究班)をつくる。班ごとに、各学習班からもち寄った疑問点について話し合う。 ・協力して調べ学習を行う。
まとめ	1	・学習班に戻り、調べてきたことを伝え合う。

### 7 本時の指導

#### (1) 本時のねらい

6人の作家の作品を鑑賞し、感想などを話し合う。

#### (2) 指導に当たって

安心して自分の感じたことを発表できる環境を導入時につくりたい。また、他の人の発表から学ぼうとする姿勢を身に付けさせたい。

(3) 授業の展開

段階	学 習 内 容	生 徒 の 活 動	形態
導入 (10分)	・あいさつ 1 自分と他の人の感じ方の違いを体験的に学ぶ	・元気よくあいさつをする。 ・学習班（5～6人の生活班）ごとに机を合わせる。 ・様々な物が入っている袋の上から触って、中にどんな物が入っているのかを感じ取り一人一人意見を出し合う。(アクティビティ) ・活動を通して気付いたことを班で出し合う。 ・班で出された意見を学級全体で発表する。	班          一斉
展開 (30分)	2 本時の学習課題を確認する	・本時の学習課題を知る。	一斉
	20世紀前半の6人の作家の作品を鑑賞しよう (ピカソ, マティス, モンドリアン, ミロ, ダリ, デュシャン)		
	3 6人の作家の作品を鑑賞し、自分の感想を書く	・作品から受ける印象、表現方法などで疑問に思うことを「鑑賞カード」に記入する。	個
4 感想や疑問点を発表する	・学習班の中で、一人ずつ作品から受ける印象と疑問に思うことを発表する。 ・他の人の感想を聞いて気付いたことを伝え合う。 ・6人の作家について調べたいことを話し合う。	班	
5 学習班ごとに話し合ったことを発表する	・6人の作家について話し合ったこと(感想、疑問点、調べたいこと)を発表する。	一斉	
まとめ (10分)	6 次時からの学習の流れを確認する	・次時から、学習班を離れ、同じ作家を調べる者同士で班(課題追究班)をつくり、調べる学習に入ること、各自が調べたことをもう一度学習班に戻って発表し合うことを確認する。	一斉
	7 調べる役割を決め、班学習カードに記入する  ・あいさつ	・学習班内で、6人の作家の中から調べたい作家を出し合いながら、調べる役割を話し合いで決める。班としてのめあて、役割分担、自分のめあてをカードに記入する。	班・個

教師の働き掛け(MAPを導入したねらい)	MAPを生かして工夫した点	
	体験学習サイクル	GRABBSチェック
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な物が入った袋を各班に配布する。</li> <li>・ 袋の上から触れて中に入っている物を想像して伝え合う活動では、自分と他の人との感じ方の違いを体験的に学ぶことが目的であることを確認する。</li> <li>・ 他の人の感じ方を尊重するように全体で確かめてから行う。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">実体験</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習に取り組もうとする姿勢はできているか。</li> <li>・ 一人一人が自分の考えを安心して言える雰囲気があるか。協力的か。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鑑賞する6つの作品を黒板に掲示する。この時、作者名と作品名を伝えるようにする。その後、各班にも6つの作品を配布し、手元で鑑賞できるようにする。</li> <li>・ 机間巡視をしながら生徒同士のかかわりを積極的に促す。</li> <li>・ 他の人の発表を聞いて、自分と異なった感想はメモを取るようにさせる。</li> <li>・ 互いの感想、疑問点、調べたいことを確認しながら、6人の作家について話し合わせる。</li> <li>・ 他の人の発表をもとに、新たな気づきを得た生徒を賞賛する。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">実体験</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時の学習課題を理解しているか。</li> <li>・ 意欲をもって課題に取り組んでいるか。</li> <li>・ 自分の意見をはっきり発表しているか、他の人の意見を受け止めようとしているか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 班員一人一人の調べたい作家を確認した上で、押し付けにならないように話し合いで役割を決めるように話す。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">目標設定</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>次時 ↓</p> <p style="text-align: center;">実体験</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人一人の考えを伝え合い、全員が協力的に話し合っているか。</li> <li>・ 班のめあて、個人のめあてを立てることができたか。</li> </ul>

(4) 評価

- ・20世紀前半に展開された美術の様々な改革運動や実験的な試みに関心をもち、その多様な成果を味わうことができたか。
- ・伝統に学びながら、それを乗り越え、新しい文化が創造されていくことのすばらしさを味わうことができたか。
- ・自分の感じたことや疑問点を班のメンバーにしっかり伝えようとしていたか。
- ・他の人の考えをしっかり聞こうとしていたか。
- ・他の人の発表から新たな気づきを得ることができたか。
- ・自分の活動やグループの活動を振り返り、充実感を味わうことができたか。

8 MAPを生かした効果、まとめ、考察等

美術の内容の中でも特に鑑賞の学習は、自分の感じ方や考え方を積極的に他の人に伝え、他の人の感じ方を肯定的に受け止める雰囲気が土台としてあってこそ深まりのあるものになる。本単元では、他の人の感じ方を尊重することが自分のものの見方を広げることにつながることを伝えるために、導入時に自他の感じ方の違いを体験的に学ぶ活動を取り入れた。さらに、自分なりの感じ方を安心して発表できる雰囲気をつくることも大切にしたいと考えた。

他の人とのかかわりを必要とする場面を意図的に設けるとともに他の人のよさに目を向けることに重点を置き、自己表現や他者理解が促進されていくことを目的として学習班を母体にした協働学習を取り入れた。学習班の中で一人一人が調べる作家の役割分担をする。次に学習班を離れ、調べる作家が同じ者同士で班（課題追究班）をつくり調べ学習をする。最後に、各自が調べたことを学習班に戻って発表し合う。

学習班での活動では、班の目標や個人のみあてを「班学習カード」を使って設定したり、「励ましカード」に他の人の発表を聞いて分かったことや他の人の活動のよさを記入して手渡す活動を行った。時間はかかるが、他の人の見方や感じ方を肯定的に受け止め、他の人の見方から学ぼうとする雰囲気が感じられるようになってきた。

〈資料〉

【班学習カード】

<u>班学習カード</u>		( ) 班	
◆班のみあて			
◆班のメンバーの役割と活動の反省			
メンバー	役割	みあて	反省
【振り返りのポイント】			
★互いに意見を出し合いながら役割を分担することができたか。			
★自分の役割を最後までやり遂げることができたか。			
★互いのよい点や改善点を見つけ合うことができたか。			